



# 統合準備委員会だより

第3号

～西中・潮見中・宇賀の浦中・統合準備委員会～

平成28年9月26日（火）午後6時30分から潮見中学校で、第4回統合準備委員会を開催しました。

総務部会から、統合校の校名案について提案があり、それについて協議し「西部」「海峡」「青柳」の3つの校名候補案を選定しました。

## 統合校の校名候補案を選定しました！

総務部会からは、以下の候補が校名案として提案され、24名の委員全員による協議と2回の投票により統合準備委員会としての候補が選ばれました。

### 【総務部会での選考経過および提案】

総務部会では、第3回統合準備委員会で校名の選定方法（総務が提案し、準備委員会で選定）が承認され、準備委員会後に総務部での原案づくりが行われました。最終的に総務部会で候補として選定されたのは以下の校名です。

校名案（読み方）	由来・理由
西部（せいぶ）	新設校の校区は、通称“西部地区”と呼ばれており、地理的にわかりやすい。
青柳（あおやぎ）	新設校の所在地の住所の町名に由来する。学校名から地理的にわかりやすい。
臥牛（がぎゅう）	新設校は函館山の麓に位置し、函館山を通称“臥牛山”と呼び、市民から慣れ親しんだ名称である。
海峡（かいきょう）	校舎から望む海洋は、北海道と本州との間にあり、日本海と太平洋をつなぐ国際海峡である津軽海峡でその名に由来する。
開港（かいこう）	日本の中でも、いち早く外国に開港した港である函館港を眼下に望む新設校にふさわしい。
函館元町（はこだてもとまち）	函館の異国情緒あふれる元町地区近郊にあることから地理的にわかりやすい。
函山（かんざん）	新設校は函館山の麓に位置し「函館山中」が考えられるが呼びやすくするために短縮して函山（かんざん）とする。
ベイサイド	海峡を見下ろす校舎からの眺めはすばらしく、まさにベイサイドに位置する学校をイメージしやすい。
坂の上（さかのうえ）	毎日、坂を登り通う校舎であり、坂を一步一步駆け上がっていく生徒の向上心を表している。
箱館（はこだて）	歴史とロマンあふれるこの地区を象徴する名称として旧名の箱館とする。

## 【準備委員会での協議】

総務部会からの提案を受け、準備委員（24名）により、校名案について協議し、予備投票により5候補に絞り、決選投票を行い3候補を選定しました。

予備投票では「西部」「青柳」「臥牛」「海峡」「函館元町」の校名が上位を占め、2回目の決選投票では「西部」「海峡」「青柳」が選ばれました。最終的に準備委員会として、教育委員会にこの3つの校名候補を報告することになりました。今後、要望書としてまとめ、委員長から市教委へ申請する予定です。

提出後は、市教委での協議決定後、市議会へ提出され、議会の議決を経て、正式に校名が決定となります。

## 制服について

制服の検討については、現在5社の制服業者に参考資料を作成してもらい、その資料をもとに、10月末をめどに制服業者に見本の制作を依頼していくという運びです。

今後は、見本をもとに業者プレゼンテーションを行い、候補を絞り込んだ後、生徒指導部会で最終選考を実施し、準備委員会に報告・承認されることとなります。

なお、新しい制服は、統合年度の新入生から着用することとなります。

## 検討部会活動状況

### 教育課程部会

統合年度の修学旅行については、①料金設定が適していること②統合校として絆を高めるプランであることなどが決め手となり業者を決定しました。今後具体的な行程や新幹線の予約などを進めていく予定です。

今後、その他の教育課程についても、3校の交流を図っていく予定です。

### 渉外部会

納涼の夕べやバザー、チャリティなどの3校の行事を交流し、統合後の行事などについて検討を進めています。

### 事務設備部会

統合に係わる備品の廃棄や移動、必要な物品についての計画を作成し市教委への予算要求文書の作成など、作業を進めています。

発行：西中，潮見中，宇賀の浦中統合準備委員会

（事務局）函館市立潮見中学校 TEL：23-4295